

「秋」、おたの街が 文化色に染まる季節。

秋号目次

■ 運営協議会は今

「遠く、広く、深く」将来構想部会長 福野幸雄

実行委員長・担当委員紹介

■ 活躍する文化プレーヤー

大盛況！カラオケ・盆踊り大会
文化プレーヤー紹介

■ Event Calendar

遊ぼう！楽しもう！文化の森で！

「収穫祭」盛大に開催

「文化の森芸術フェスティバル」

廊下ギャラリー

■ Culture Information

知ってる？この名所 池上本門
寺・松濤園

知っとくナッ得

お勧め展覧会「川端龍子生誕120
年記念展」

ひと・もの・こと「かかわる力」を育
む矢口小学校 表紙の人物 吉田
甲子太郎

最新号 Vol.19

バックナンバー

[vol.12夏号](#)

[vol.13秋号](#)

[vol.14冬号](#)

[vol.15春号](#)

[vol.16夏号](#)

[vol.17秋号](#)

お知らせ

お待たせいたしました。インターネット版OBM最新号を公開いたしました。秋号は情報誌と同時公開でタイムリーに情報をご覧いただけます。

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)
もご覧下さい。

ご意見ご感想はこちら

で bunkanomori@nifty.com



運営協議会は今

豊「遠く、広く、深く」懇談会シリーズ進行中

将来構想部会長 福野幸雄

こ大田文化の森運営協議会の一部に「将来構想部会」なる大仰で大袈裟なネーミングの組織があります。誰でも将来を構想するなどということは、至難の技であります。今春から部会を担当することになり、重荷を感じています。噛み砕いていえば、「将来構想部会」とは、文化の森の明日の活動を、できるだけ前向きに、できるだけ幅広く、できるだけ深く掘り下げ、デッサンする(描く)ための組織と考えています。運営協議会には「文化会議」(委員全員がメンバー)という決定機関があり、「役員会」という執行機関があって、年度(4月から翌年3月まで)の期間中の、文化プレーヤーや実行委員会の活動を具体化しサポートしています。このような年度内の日常の活動を、ちょっと離れて、三～五年くらいの期間で方向性を考え、運営協議会の内部だけではなく、外部の方々のご意見をお聞きする、また、企画や案件を深く掘り下げて検討する「場」が必要であると思います。時あたかも、運営協議会が発足し文化の森活動が本格的に始まって5年目の節目にさしかかっています。この辺で、良い芽はますます育て、悪い芽は摘み取って、緑したたる豊穰の森を繁らせる地盤を固めなければならないと思っています。



将来構想部会長 福野幸雄

この問題意識で、「明日の文化の森活動を描くために」と題した懇談会を、四回にわたって開催しております。第一回「文化の森は、行政、地域、学校と手を繋ぐ」(6月27日終了)、第二回「文化の森は、芸術、芸能、文芸を楽しみ、育む」(8月22日終了)、第三回「運営協議会の仕組みと役割」(10月24日予定)、第四回「文化の森のミッションは何か」(12月12日予定)。運営協議会の外部の方々にも参加していただき、温かく、また厳しいご意見をいただいています。さまざまな活動について、長い期間で、広く眺め、深く見つめる懇談会が回を追って熱を帯びて来ています。この懇談会の成果を、将来の文化の森活動に生かすことが、運営協議会の責任でありましょう。

運営協議会の直接事業は、9つの実行委員会を中心に企画・運営・実施されています。実行委員長と担当の運営協議会委員を紹介します。

- 芸術事業プロジェクト 実行委員長:岡崎清吾 担当委員:小川かよ子/ヤマモト・ユウコ
- まちづくりプロジェクト 実行委員長:宗 正雄 担当委員:福野幸雄/河合良治
- 誰でも楽しめるプロジェクト 実行委員長:景山弓張 担当委員:岡崎清吾/小川かよ子
- 子ども・若者プロジェクト 実行委員長:里見知香 担当委員:大島悦子/山本直子
- 異文化交流プロジェクト 実行委員長:北岡三子 担当委員:山本直子/福野幸雄
- サロン交流会プロジェクト 実行委員長:大久保ミネ 担当委員:福野幸雄/青柳博之
- 収穫祭プロジェクト 実行委員長:岩井祐一 担当委員:染谷昇/鈴木康紀
- たねまき祭プロジェクト 実行委員長:染谷昇 担当委員:青柳博之/鈴木康紀
- カラオケ・盆踊りプロジェクト 実行委員長:河原佳子 担当委員:塚越恒爾/平林貴男

運営協議会スケジュール

10月1日(土)～12月28日(水)のスケジュール

- 文化会議(第1・3金曜日19:00～21:00) 10月7日・21日、11月4日・18日、12月2日・16日
 *文化会議は運営協議会の最高議決機関で公開です。いつでも傍聴できます。
- 役員会(文化会議のある週の火曜日13:30～15:30)
- 将来構想懇談会(月曜日19:00～21:00)10月24日、12月12日
- 実行委員会
 - 芸術事業プロジェクト(金曜日19:30～21:30)10月28日、11月25日、12月23日
 - 誰でも楽しめるプロジェクト(月曜日19:00～21:00)10月3日、11月7日、12月5日

- 子ども・若者プロジェクト(金曜日13:30～15:30)10月14日、11月11日、12月9日
- まちづくりプロジェクト(木曜日10:00～12:00)10月6日、11月11日、12月1日
- 異文化交流プロジェクト(木曜日18:30～20:30)10月20日、11月17日、12月15日
- サロン交流会プロジェクト(火曜日19:00～21:00)11月15日(火)多目的室にて開催
- 収穫祭プロジェクト(水曜日19:00～21:00)10月19日、11月16日、12月14日

活躍する文化プレーヤー
 大盛況！カラオケ・盆踊り大会

実行委員長 河原佳子

8月5日・6日に、今年で四回目となる「文化の森 カラオケ・盆踊り大会」が開催されました。今年も、天候にも恵まれ、大会自体、地域に浸透してきたということもあり、2日間で、2000名を超える来場者がありました。



子どもワークショップ。高校生が活躍

広場とホール、展示コーナーなどを使い展開されるこの催しには、2日間で、350名ほどのスタッフがかかりました。運営協議会が担い、文化プレーヤーが担当するのは、主に、カラオケ大会会場と、集会棟のガーデニングワークショップ、子どもコーナーで、各日25名の文化プレーヤーが参加しました。特に今年も、文化プレーヤーの声かけで、高校生（東京高校）のお手伝いも、各日10名以上あり、子どもたちの相手をして活躍しました。

カラオケ大会会場では、会場受付、出場者の方の案内が主な仕事ですが、馴れない舞台のため、出場前で緊張している出演者がスムーズに歌えるように、ホール、楽屋、舞台袖などに分かれて、サポートしました。

毎年のようにお手伝いして下さる方、初めての方もいらっしゃいましたが、とても素晴らしい関係プレーで、臨機応変に対応していただきました。

また、昨年からは始まった子どもワークショップのコーナーでも、文化プレーヤーは活躍しました。この大会に来た子どもたちが楽しめるように、うちわ作り、お面作りなど、小さなお子さんでも手軽に楽しめる工夫をして、子どもたちに大盛況でした。

とくに、ガーデニングワークショップのメンバーは、昼間開催し、夜間もお手伝いしてくれました。このように文化の森のカラオケ・盆踊り大会は、文化プレーヤーのみなさんに支えられて成り立っています。お手伝いをしていただくことで、大会の雰囲気を感じるのももちろん、参加者とは違った立場で、人の笑顔に出会い、また交流できた2日間でした。

02 文化プレーヤー紹介 実行委員のみなさまを順次紹介します。



宗 正雄さん まちづくりプロジェクト実行委員長

平成17年度まちづくりプロジェクトの実行委員長として活躍されております。

今年度から、防災の事業が加わり、地域で活躍されている宗さんは人望も厚く、防災の企画は着々と進んでおります。毎月開催される実行委員会では、各企画提案された内容について、的確な判断で見事な議事進行をしております。

防災について関心のある方、ぜひ、まちづくり実行委員会に参加してみませんか。

(文化プレーヤー 北岡三子)



大久保ミネさん サロン交流会プロジェクト実行委員長

春日流師匠、芸歴二五年のベテラン。南馬込在住で小唄教室を主宰。マンツーマンの親切な指導が評判です。お弟子さんには落語家の春風亭朝之助さんもあり、参加者の数も増えています。

小唄は腹式呼吸による発声なので、気分転換と健康に良いとの事。現在、「文化の森サロン交流会」の実行委員長として、サロンの更なる充実を目指して奮闘中です。

(運営委員 青柳博之)



景山弓張さん 誰でも楽しめるプロジェクト実行委員長

経験豊かなメンバーと共に、「誰でも楽しめるプロジェクト」実行委員長として活躍を続ける〈若手〉文化プレーヤーの一人です。

『芸術文化の芽を育てたい』という思いを胸に秘め、仕事の傍ら音楽関係の仕事もこなしています。彼は、溢れるアイデアの持ち主でもあります。胸に「S」の字こそ見えませんが、今日もパワー全開で飛び回っています。

(運営委員 山本直子)

■イベントカレンダーはこちらをクリック スグにイベントのカレンダーをご覧になれます。

遊ぼう！楽しもう！文化の森で！
 ～11月3日、全館イベント「収穫祭」、盛大に開催～



子どものワークショップ

昨年のご好評にお応えて、今年は内容を更に充実！ オープンに向けて各担当の文化プレーヤーは、今、その準備に大忙しです！！ 今年のポイントをちょっとだけ教えちゃいましょう。

- ★イベント①【スタンプラリー】空くじなし！ お子さま、ファミリーでお楽しみ下さい。
- ★イベント②【もっと知ろう！地元のことを】一階展示コーナーを使った今年新登場の見逃せない特別企画！日本では初めて大田区の下水道処理施設屋上で営業してきた「コアジサシ」のコーナーも予定。
- ★イベント③親子でも楽しめる【子ども工作広場】五階多目的室
- ★イベント④三階に【森のレストラン】がオープン！ 昼食はおまかせください！ 北海道のいもダンゴ、おしるこも予定。
- ★イベント⑤昨年好評の【チャリティ縁日ミニショップ

プ】今年はお店三倍のバージョンアップ！

- ★イベント⑥広場では、阿波踊り・蒲田行進曲輪踊り（飛び入り歓迎）、手話コーラス、ヒップホップダンスを披露。
- ★イベント⑦【ホール】では、9時30分から大田区長の挨拶に始まり、各サークルの華やかなステージでの成果発表！ 4時30分から5時のグランドフィナーレ！で終演。乞うご期待！
- ▼開催時間 午前9時30分～午後5時（集会棟は午後4時まで）
- ▼全館入場無料



チャリティミニショップ

（実行委員長 岩井祐一）

様々なジャンルの芸術をご鑑賞下さい



「月展」に参加しませんか

「文化の森芸術フェスティバル」
 芸術事業プロジェクトは11月23日（祝）に「文化の森芸術フェスティバル」を開催します。展示コーナーでは、10時から「月」をテーマにした合同作品展「月展（がってん）」を開催します。
 大田区で活躍する様々なジャンルの芸術家の作品をご鑑賞いただけます。午後1時に開演するホールにおいては第1部：平多舞踊研究所によるアニメム「11びきのねこ」とクラウン少女合唱団＆ハミングバードくるみ割り合唱団が唄う「くるみ割り人形」、第2部：文化の森で活躍するアマのみなさんの発表会、第3部：榎茂都梅美治氏による上方唄「流しの枝」と、大人も子どもも、プロもアマも楽しめる催しがあります。

（運営委員 ヤマトユウコ）



和みアート

廊下ギャラリーは大田文化の森
集会棟4階の廊下壁面を利用したギャラリーです。区民の皆
さんの表現、活動発表、コミュニケーションの場として、絵画・
写真・書・俳句・コンピュータグラフィックなどのアート作品だけ
でなく、区民活動紹介、わが町・我が家自慢など、自由な発
想でご利用下さい。展示期間は2週間で、展示用アルミ額縁
パネル(小:39.5cm×31cm、大:82cm×57.5cm)を貸出しま
す。出展料は無料ですが、搬入・搬出・管理は出展者の方
にお願いしています。申し込みは、大田文化の森運営協議会事
務室まで。

■10月以降の作品展

- ①11月3日～18日:松本力さんと永岡大輔さんによる
「ドキュメント・ストリートペインティング」
- ②11月19日～30日:櫻井悦子さんによる「和みアート」
- ③12月2日～15日:玄貞会の皆さんによる「玄貞会篆刻展」

(運営委員 ヤマトユウコ)

大田文化の森運営協議会公募による事業

■公募による事業とは

区民の文化活動を支援するために、実施したい企画、また、運営協議会に実施してもらいたい企画を募集。団体や個人が実施する企画に、使用施設・宣伝手段などの助成をします。

■教養としての仏教講座

- ①仏教と現代、②釈迦の教えの根底にあるもの・お経の話、③日本仏教1、④日本仏教2、⑤仏教の死生観

開催日時:11月5・12・19・26日、12月3日(土)18:30～20:30

定員:抽選で35名/参加費:2000円/申込締切:10月21日必着

■ふろしきはすてきなエコバッグ

日本古来の「ふろしき」の良さを見直し、伝統の枠にとらわれない包み方や使い方を皆で楽しみます。

開催日時:11月12・19日(土)14:00～16:00/定員:抽選で30名

参加費:2000円/申込締切:10月28日必着

■小さなお箏・文化箏講座

初めての方にも気軽に楽しく伝統的な楽器に親しんでいただき、童謡、わらべ歌や日本の歌など馴染みのある曲をいろいろ演奏します。

開催日時:11月30日、12月7・21日、1月11・25日(水)10:30～12:00

定員:抽選で20名/参加費:5000円(文化箏レンタル料含む)

申込締切:11月11日必着

■第2回0歳からおやこでコンサート

家族全員で参加できるコンサート。ヴィヴァルディ「冬」、ブラームス「ワルツ」、ディズニーメドレーなど、ポピュラーな曲を、一緒に楽しめます。

開催日時:12月18日(日)14:00~/会場:大田文化の森ホール

定員:先着200名(参加人数明記)/参加費:無料

■お正月計算マラソン大会

最近小学生の計算能力の不足が巷間言われています。このための動機付けとして、親子家族で楽しめる計算大会です。

開催日時:大会1月4日(水)10:00～10:45、表彰式9日(祝)10:00～11:00

定員:抽選で70名/参加費:1000円/申込締切:12月16日必着

■テーブルと椅子でお抹茶を楽しみませんか。

畳に正座を離れ、会議室・応接室等どこでも掛け軸と花を飾り、お茶を飾り、お茶を点て、楽しく心豊かなひとときを過ごしましょう。

開催日時:1月16・23日、2月6・20日、3月6・20日(月)10:00～11:45

定員:抽選で30名/参加費:3500円/申込締切:12月22日必着

■三時のおやつをごちそうさま

親とお子さん、おばあちゃんとお孫さんで手作りおやつを作りましょう。わが家の味が一番!を目指します。

開催日時:1月29日、2月19日、3月19日(日)12:30～15:30／定員:抽選で12組(成人と小学3年生以上)／参加費:2400円／申込締切:1月13日必着

●公募企画募集のお知らせ

大田文化の森集会棟を利用した企画を募集します。
採用された企画は、施設使用料と付帯設備使用料の免除及び実施日時の優先確保があります。

▽企画の実施期間 平成18年4月～平成19年3月

▽内容 集会棟を利用した企画

▽応募希望者説明会 10月12日(水)14時～、19時～ 大田文化の森4階第3集会室

▽申込方法 所定の応募用紙で郵送または持参。

▽応募要項配布先 大田文化の森、区民プラザ、アプリコ、図書館、文化センター、区民生活課、社会教育課

▽応募締切 11月7日(月)必着

▽問合せ先 大田文化の森運営協議会 公募係

〒143-0024 大田区中央2-10-1 電話3772-0770 FAX 3772-0704

大田文化の森運営協議会主催事業

■主催事業とは

区民が自ら学び、演じ、交流し合って、新しい文化を創造し、区民参画による管理運営を実現するために、実行委員会(9プロジェクト)で主に企画し、実施する事業です。

■ブルガリアの歌と踊り

ブルガリアとの民族舞踊や民俗楽器の演奏を聴き、異文化への理解を深める公演とワークショップなど。

開催日時:10月16日(日)13:30～／会場:多目的室

チケット:1000円(13歳以上～18歳未満500円)

■翔びたつ文士村第5回 文化の森文学館

時代の先駆け、自立した女性のモデルとして、馬込文士村を代表する女流作家「宇野千代」の世界について。

開催日時:10月23日(日)13:30～15:00

定員:抽選で65名／参加費:300円／申込締切:10月14日必着

■文化の森「収穫祭」

文化の森一年間の活動の成果発表。芸術作品、ホールでの歌や踊りの発表、模擬店・スタンプラリーなど盛りだくさんの全館イベント。

開催日時:11月3日(祝)9:30～17:00(集会棟は16:00まで)

■HOW TO サポート!

視覚障害を持つ方に対しての具体的な接し方を体験し、ユニバーサルデザインについての理解を深める。

開催日時:11月5日(土)13:00～15:00

定員:抽選で30名(小学生)／参加費:無料／申込締切:10月24日必着

■マンションフォーラム～2005シンポジウム

防災の視点で、マンションの維持管理を考える講演。

開催日時:11月13日(日)13:00～16:00

定員:先着70名／参加費:500円

■防災まちづくり講座

切迫する大規模地震を認識し地震対策を学び、地域の防災マップを作り、地域住民の防災意識、防災力を高める。

開催日時:11月17日(木)・25日(金)19:00～21:00、12月1日(木)18:30～21:00、3日(土)13:00～17:00／定員:抽選で50名(18歳以上)／参加費:無料／申込締切:11月4日必着

■コミュニティ・ビジネス入門

地域住民が主体の「コミュニティ・ビジネス」について、基礎的なことをわかりやすく説明します。

開催日時:11月19日(土)18:30～20:00／定員:先着30名／参加費:無料

■赤十字「幼児安全法」支援員養成講座

子どもを事故や病気から守るために必要な知識と技術を学ぶ。

開催日時:11月19日(土)・20日(日)・27日(日)10:00～16:00／定員:抽選で25名(15歳以上)

教材費:1000円／申込締切:11月4日必着

■日本そば打ち講習交流会

日本の代表的な食文化であるそば打ちを通じて異文化交流を図る。

開催日時:11月20日(日)10:00~14:00/定員:抽選で30名(中学生以上)

参加費:1000円/申込締切:11月4日必着

■文化の森芸術フェスティバル

ホールではダンス「11ぴきのねこ」、合唱「くるみ割り人形」、上方唄「流しの枝」、展示コーナーでは「月」をモチーフにした展示等、文化の森の芸術祭。

開催日時:11月23日(水・祝)10:00~会場:大田文化の森ホール、展示コーナー他

ホールチケット:1000円(3~12歳500円)

■大田文化の森落語会季節寄席<冬>

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」を開催。冬に因んだ落語を2席。

開催日時:12月3日(土)15:00~

出演:春風亭朝之助、柳亭こみち、鏡味仙花(ゲスト)/演目:「代脈」他1席/会場:多目的室

チケット:11月2日10:00から発売、500円(当日700円)。未就学児不可。

■大田文化の森ガーデニング第2回講習会

ガーデニングの楽しさや育てることの喜びを参加者に味わってもらう。

開催日時:12月4日(日)10:00~13:00/定員:抽選で30名

参加費:1500円/申込締切:11月18日必着

■作って・食べて・発見しよう

栄養学を学ぶ佐伯栄養学校の学生との交流を深めながらの、子ども向けクッキング講座。「おいしいお豆料理」「クリスマスカラーの蒸しパン」など。

開催日時:12月10(土)、24日(土)10:30~14:00/定員:各回抽選で30名(小学生)

参加費:100円/申込締切:11月26日必着

■作って 活けて 自然に触れて 感じて

花や木、自然の素材を使って自由なものづくりをする。自分で素材を選び、どんな物を作りたいか考えて作っていく講座。

開催日時:12月10日、1月7日、2月11日(土)14:00~16:00/定員:抽選で各20名(小学生)

参加費:1000円/申込締切:11月25日必着

■親子で楽しむハートフルシアターII

すぐれた作品を安い料金で上演し、親子で鑑賞することを通して、感性を育て親子の絆を深める。

開催日時:12月11日(日)13:30~/会場:大田文化の森ホール

チケット:発売予定は10月11日10:00から、1500円

■馬込文士村クリスマスコンサート&交流会

ロシアの歌姫が贈るクリスマスの名曲の数々。

開催日時:12月17日(土)19:00~/会場:多目的室

チケット:発売予定10月17日10:00から、1000円

●申込・問合せ先●

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会宛

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

往復はがきに「講座名」・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。

申込多数の場合は抽選となります。

ひと・まち・もの・だれにも・いたい・じまんしたい

知ってる？この名所

池上本門寺・松濤園
 西郷隆盛・勝海舟 江戸城開城会見の場

ご存知、本門寺の五重塔の裏、200mほど行ったところに「松濤園」はある。普段は非公開だが、去る8月29日から9月4日までの一週間、一般公開された。「松濤園」は、日蓮宗の宗祖、日蓮聖人ご入滅の地として知られる池上本門寺・旧本坊の奥庭として、江戸初期に桂離宮の建築と造園で名高い小堀遠州(1579～1647)によって造られ、四千坪に広がる庭には遠州茶道の極意を具現し、溪流と池を回遊する名園として東京都史跡に指定されており、1858(慶応四)年には、西郷隆盛と勝海舟により、江戸城開城の会見がなされたとして知られている。一般公開は年一度だけ、ただし、「池上本門寺だより」ウォークラリー全一問に解答すると、「松濤園見学券」がもらえる。また、大田区観光協会の会員にも見学の機会がある。(「池上本門寺だより」は朗峰会館受付にあります。)



庭園風景



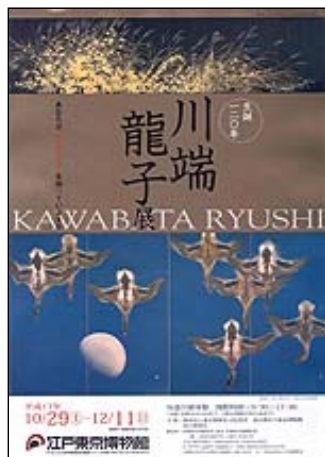
西郷隆盛・勝海舟
 見の碑

知っとくナッ得

おJR蒲田駅西口の駐輪に耳寄りな話。蒲田駅南口(東急線最寄口)を外へ。すぐ左、駅から1分も行かないところにあるのが「蒲田駅西口自転車駐輪場」(電話03-3735-3807)。便利のため当日料金は200円とお高いが、四時間以内ならば150円が返却されるため、50円とお得。さらに、日曜・休日、1月2・3日は三階での駐輪が無料となる。うまく使ってモラルある区民に。最寄の駐輪場を調べてみれば、思わぬ収穫があるかも。

(西六郷 縞 悠)

お勧め展覧会



「川端龍子生誕120年記念展」

江戸東京博物館(電話03-3626-9974)では、龍子の生誕120周年を記念し、雑誌の挿絵や双六、龍子が創設した青龍社時代の作品を中心に大作を含む代表作約130点を展覧します。小作品も展示し、大作とは異なる龍子の魅力も合わせてご紹介します。会場は見渡す限りすべて龍子です。龍子の「会場芸術」の神髄をご堪能下さい。

また、大田区立龍子記念館(大田区中央4-2-1、電話03-3772-0680)では、10月29日(土)～12月21日(水)の間、青龍社メンバーの作品を中心とする「龍子生誕120周年記念展」を同時開催します。(パンフレットより抜粋)

投稿案内

このページは読者でつくります。感想、お勧めイベント・地域のほっとする情報、コラム、提言などお寄せください。
氏名(ふりがな)、電話番号を明記。掲載させていただく場合、手直しすることがあります。原稿はお返しいたしません。ご了承ください。

おおたの学校

ひと・もの・こと「かかわる力」を育む矢口小学校
～変わる学校の推進力『サマーワークショップ』『矢口文化フェスタ』～

■夏休み、地域が支える学校の活動

矢口小学校では、長期休業中の学校施設を使って子どもと大人と一緒に学び合う場として「サマーワークショップ」を開催しています。子どもの学びにかかわる大人は、教職員だけではなく、子どもをとりまく地域社会・保護者・NPOや専門家・企業なども、子どもを応援しながら一緒に学び合いたいという願いをもっています。主催者は、参加・体験するなかで何かを学び合ったり創造したりする学びのスタイルを工夫し、企画や運営はボランティアとして協力します。このように計画された様々な企画に、子ども自身が自ら意思決定をし、自分の意志で参加します。2000年に教員によって六企画が開催されて始まったこの試みは、年々発展し、今年には五四企画、今では、地域・保護者・NPOや企業・中学校や高校・公共施設や専門家など様々な人々とのかかわりとなってきています。まさに、地域があってこそ学校があるということを顕しています。



木舟「魂心丸」さあ、進水式だ



ぞうりはこう作ったのよ！

■新たな伝統を創る試み

「矢口文化フェスタ」は、これまで行ってきた学芸会・展覧会・音楽会から脱却し、七つの発想(1. 総合的な発表、2. 学校全体が発表の場に、3. 多様な発表方法の選択、4. 各自の判断で選び、自由に見学、5. 発表する側と聞く側が相互にかかわりをもてる工夫、6. 昼は弁当、どこでも食べられる、7. 保護者・地域も一緒に活動し学び合う)という視点から創りあげられました。オープニング集会とエンディング集会は体育館での全体集会ですが、それ以外は全校の教室を使って学年の発表活動が展開され、教職員・児童・保護者・地域の方々は自由に見聞きして回ります。フェスタが終わると、児童は、「おとうさんクラブ」が焼いたできたての「焼いも」をおみやげに持ち帰ります。2005年度は、11月25日(金)、26日(土)に開催予定です。

(運営委員 河合良治)



吉田甲子太郎(児童文学者)

表紙の人物 佐藤 朝山

1894(明27)年、東京に生まれる。

早稲田大学英文科卒業。1932(昭7)年、明治大学の教授となる。児童文学者、翻訳家として幅広く活躍し、1941(昭16)年、低俗な少年小説を文学に高めようと「負けない少年」を出版。筆名を朝日壮吉と称する。戦後は児童雑誌「銀河」の編集長となる。

1925(大17)年31歳の時、南馬込に転入し天神山に居を定め終生をこの地で過ごした。しがたないその日暮らしであったが、人柄・文士たちの揉め事の相談役・借家人なのに森の中の大きな家に住む・などで「馬込村」では「村長」と渾名された。

1957(昭32)年胃がん術後の療養中に死去。63歳。

主な作品に『サラガの冒険』『源太の冒険』『兄弟いとこものがたり』など。天神山の住居跡には馬込東中学校、付近にも住宅が建ちならんで、かつて大きな森があったとは想像しにくい。文士たちが大森駅へと歩いた谷中通り(環七)も往来が激しく、トラックが地響きをたてて走りさ

